報告年月日：平成２０年１２月８日

「容器包装廃棄物排出抑制推進員」（3R推進マイスター）の活動結果報告書

「容器包装廃棄物排出抑制推進員」（３Ｒ推進マイスター）に講演やその他啓発活動等の出務を依頼し、次の通り終了しましたので報告します。

出務依頼した事業名			鴻巣市環境衛生連合会功労者・マイバッグ運動優秀作品表彰式及び環境講演会
対象事業の開催日時			平成２０年１２月６日（土）　9時２０分　～11時３０分
対象事業の開催場所			鴻巣市文化センター　クレアこうのす　小ホール
主催者、共催者等			鴻巣市・鴻巣市環境衛生連合会
出務3R推進マイスターの氏名			鈴木　武　先生（出務者数：本人）
活動内容	1. 講　演	タイトル	ゴミゼロへの挑戦
		講演場所	鴻巣市文化センター　クレアこうのす　小ホール
		講演時間	１２月６日（土）１０時　～１１時２０分（８０分間）
		参加者数	３００名
	2. その他の啓発活動	内　容	座談会
		実施場所	鴻巣市文化センター　クレアこうのす　和室
		実施時間	１２月６日（土）１２時　～１４時（１２０分間）
		参加者数	１３名
3R推進マイスターの活動状況等			鈴木武先生が実際に松下通信工業時代に排出物のリサイクル活動に取り組んだ様子や、実際にごみとして排出される金属などを手に取りながら資源となることをご説明くださり、衛生委員として活動されている皆さんには大変有意義な講演会となりました。 環境問題を通じて、人と人との接し方や退職後の生き方、充実した人生の送り方まで学ばせていただけたように思います。 参加者からの感想では大変得るものが多かった、ごみと表現せずこれからはすべて資源と言いながら、地域の衛生活動を行う、知恵を生かし合いながら地域の人々と一緒に楽しみながら活動を行うと話しており、中には先生にサインを求める参加者もおりました。 講演会後の座談会では、お持ちになった玉手箱という名刺ケースからあおいくまさん名刺を取り出され、他愛ない会話から人を大切にしながら接して、環境協力に誘い入れる手法がわかりました。また、お風呂に入れてあげたお金のお話から、お金を含めこの豊かな社会を感謝すること、さらに柔軟な発想を常に心がけリサイクルの輪を広げていくこと、継続が大切な取組であるため、苦に感じるいろいろなことを継続する方法、幸せになれるコツを学ぶことができました。 大変楽しいお話であっという間のご講演でした。 今後も多くの方が先生のお話を聞いていただけますよう、これからのご活躍を期待しております。
報告者	責任者	所　属	鴻巣市市民環境部
		補職・氏名	参事　関　口　泰　一
	担当者（連絡先）	所　属	鴻巣市市民環境部環境リサイクル課
		補職・氏名	リサイクル推進担当主査　大　島　幸　子
		電　話	０４８－５４１－１２８１
		ＦＡＸ	０４８－５４１－７３２９
		Ｅメール	M0780@city.kounosu.saitama.jp

平成20年度岡崎市環境衛生功労者及び
マイバッグ優秀作品表彰式